

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2単位	講義
担当教員			
大橋 和博			

講義概要	①現代の児童家庭福祉を保育者の視点で概観し、子どもの権利や児童家庭福祉の成り立ちを学ぶ。 ②児童家庭福祉の法体系と行政・実施機関および施設について学ぶ。 ③社会的養護やいろいろな保育サービスおよび障害児の福祉を学ぶ。 ④子どもを取り巻く諸問題および子育て支援や健全育成について学ぶ。 ⑤児童家庭福祉の専門職と専門技術について学ぶ。
授業計画	<p>1 ガイダンス 授業の進め方について説明を受け、児童家庭福祉とは何かを理解する</p> <p>学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキストの第1章を読んでおくこと</p> <p>2 現代の児童家庭福祉と保育士 少子高齢化をキーワードに現代の子どもを取り巻く状況および保育士の役割について理解する</p> <p>学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキストの第2章を読んでおくこと</p> <p>3 子どもの権利 子どもの権利とは何か、児童福祉法や子どもの権利条約等を通して理解する</p> <p>学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキスト第3章の前半を読んでおくこと</p> <p>4 児童家庭福祉の成り立ち（1） 欧米における児童家庭福祉の成り立ちを歴史を通して理解する</p> <p>学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキスト第3章の後半を読んでおくこと</p> <p>5 児童家庭福祉の成り立ち（2） わが国における児童福祉法の成り立ちを歴史を通して理解する</p> <p>学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキスト第4章前半を読んでおくこと</p> <p>6 児童家庭福祉の法体系 児童家庭福祉に関する法律を概観する</p> <p>学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキスト第4章後半を読んでおくこと</p> <p>7 児童家庭福祉の行政・実施機関 児童家庭福祉に関わる行政機関等を概観する</p> <p>学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキスト第5章を読んでおくこと</p> <p>8 児童福祉施設 児童福祉法に規定されている施設を概観する</p> <p>学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキスト第6章を読んでおくこと</p> <p>9 社会的養護 社会的養護とは何かを理解する</p> <p>学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキスト第7章を読んでおくこと</p> <p>10 保育サービス 保育や子育て支援策の現状を概観する</p> <p>学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキスト第8章を読んでおくこと</p> <p>11 障害児の福祉 障害児を取り巻く現状を概観し、障害児の福祉と保育を理解する</p> <p>学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキスト第9章を読んでおくこと</p> <p>12 子どもを取り巻く諸問題 児童虐待、情緒障害、少年非行とは何か理解する</p> <p>学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキスト第10章を読んでおくこと</p>

	<p>1 3 子育て支援と健全育成 子育て支援および子どもの健全育成の現状を概観する</p> <p>学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキスト第11章を読んでおくこと</p> <p>1 4 児童家庭福祉の専門職と専門技術 児童家庭福祉に携わる専門職の役割を理解する</p> <p>学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：</p> <p>1 5 まとめ 授業の振り返りと質疑応答</p> <p>学習課題 復習：学習したことをまとめ、試験に向けて準備をする</p>
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①児童家庭福祉の成り立ちを理解し子どもの権利について考えを深めることができるようになる。 ②児童家庭福祉の法体系と行政・実施機関の関係や機能を理解できるようになる。 ③児童家庭福祉に関する社会的資源やサービスについて理解できるようになる。 ④児童家庭福祉の専門職としての役割を理解できるようになる。 ⑤児童家庭福祉の現代的課題について関心を持ち、意見が述べられるようになる。</p> <p>毎回小テストを実施し、その得点により授業内容の理解度を評価する。また、授業により得た知識がどの程度身についたかについては定期試験で評価する。</p> <p>①小テスト50% ②定期試験50%</p>
教科書・参考書	テキスト：伊達悦子・辰己隆編集「改訂 保育士をめざす人の児童家庭福祉」みらい 2015
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間前後に教室で質問を受け付ける。
備考・メッセージ	耳慣れない用語が多数出てくるので、疑問点を残さず主体的に学習する姿勢をもつこと。